



【釧路町立別保中学校 学校だより】令和8年6月30日発行 No.3

山野辺

〒088-0603 釧路郡釧路町別保南2丁目44番地Ⅰ TEL:0154-62-2019

《 校 訓 》

未来を拓く強い意志

《学校教育目標》

○自主性をもち学び続ける生徒

○自らを律し広い心をもつ生徒

○心身を鍛え人生を切り拓く生徒

「ピリカ カイ(parka kay)」

校長 福 田 英 明

すっかり山々は濃い緑色に覆われ、朝から聞こえる虫の音も鼻孔をつく空気の香りもギラギラとした季節のそれに近くなっているようです。テレビでは、もうすでに真夏を記録している内地のニュースが入っています。北海道を除き梅雨入りしたので、真夏もう少しでやってくるのでしょう。

さて、6月4日から5日まで、2年生とともに1泊2日の宿泊研修に行ってきました。2年生は阿寒湖温泉街に宿泊し、アイヌ文化を中心に学習してきました。1日目は、午前中に阿寒湖アイヌシアターイコロでアイヌ古式舞踊の見学。阿寒湖畔でお弁当を食べた後は、ウォークラリーに出発しました。ゴールした後は遊覧船に乗り、チュウルイ島でまりも観察を行いました。夕食後、ナイトウォークに行き1日目終了。2日目はアイヌコタンにあるオンネチセでムックリを制作。終了後は温泉街で自主研修を行い、バスで帰ってきました。

2年生の宿泊研修も3年生の修学旅行と同様に、時間を気にしながらの行動など、来年度の修学旅行に向けてまずは成功だったのではないのでしょうか。生徒たちは、食事の時に野菜をしっかり取るなど健康管理を行っていたり、講師の先生の話をかきんと聞いて、器用にムックリを作ったりと自分で考え、判断してしっかりと行動ができていたようです。

宿泊研修で行った阿寒湖は、私自身が教頭に昇任し、初めて勤務した土地でした。ムックリ制作の講師の先生は、当時の生徒のお父さんだったり、宿泊した阿寒ビューホテルの従業員の方にも当時の保護者がいたりしました。そんな阿寒湖はアイヌの方々が住んでおり、アイヌ文化の継承に力を入れています。

アイヌ文化といえば、身近に感じないかもしれませんが、北海道の先住民族であり、現在の北海道の地名も多くアイヌ語が由来になっています。釧路町の「クシロ」もそうですし、別保の「ベッポ」もそうです。「クシロ」は、「クスリ(kusuri)」(川を渡る道・通路、超える・通り抜ける場所)などの意味があるそうです(諸説あり)。「ベッポ」は、「ペツ・ポ(pet-po)」(小さな川、本流に流れ込む支流)という意味があるそうです。

アイヌ文化を知るのに良いと思う私が推薦したい漫画があります。「ゴールデンカムイ」です。野田サトルさんの作品で、明治末期の北海道を舞台に、日露戦争の生き残り「不死身の杉元」といわれる杉元佐一が、アイヌの子アシリパとともに、隠された金塊を巡る争奪戦の物語です。この主人公、杉元佐一の名前は、作者の野田サトルさんの祖父の名前「杉本佐一」から来ています。この祖父の杉本佐一さんは、湧別町の屯田兵として北海道に渡ってきた人です。実際に日露戦争にも行っている人で、作品に影響を与えています。(実は、この祖父杉本佐一さんと同じく、私の曾祖父も湧別町の屯田兵として同時期に入植しており、日露戦争にも従軍しています。)

話は逸れましたが、アイヌの人々は、子供たちはカムイ(kamuy)「神々」からの預かりものとして、コミュニティ全体で非常に大切に育ててきたそうです。アイヌの人たちは子供たちをピリカ アイヌ(pirka aynu)「美しく立派な人間」になるように、ポポ ピリカレ(popo parkare)「子供たちを美しく立派に育てよう」育てます。別保中学校の生徒は、ピリカ アイヌ ネ ヤクサク(parka aynu ne yaksak)「良い人間になっておくれ」と願う保護者・地域のみなさんのおかげでピリカ カイ(parka kay)「立派な子供たち」に育っています。本当にありがとうございます。

7月		
日	曜	主 な 行 事
1	水	全校朝会 町研一斉部会 4時間授業
2	木	
3	金	3年やまのべ発表会(5～6校時)
4	土	中体連(バレー部)
5	日	中体連(バレー部)
6	月	体育祭練習開始(ジャージ登校) 道スクールカウンセラー来校日
7	火	体育祭練習 ALT
8	水	体育祭練習
9	木	体育祭総練習 体育祭準備
10	金	体育祭
11	土	釧路地区バドミントン予選会
12	日	
13	月	体育祭予備日 学習相談週間～7/17
14	火	常任委員会(体育祭反省) ALT
15	水	食育
16	木	評議会(8月定例・体育祭反省)
17	金	道みんの日
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	ALT 夏休み課題 前期期末テスト範囲提示
22	水	1年陶芸教室
23	木	大掃除(ジャージ登校) 非行防止教室
24	金	長期休業前全校集会 4時間授業(給食あり) 町スクールカウンセラー来校日
25	土	「少年の主張」釧路地区大会 夏季休業開始～8月24日(月)まで
26	日	英語弁論大会 釧路町ジュニア大使台湾訪問～29日
27	月	【学校閉庁日のお知らせ】 8月10～14日は学校閉庁日のため、教職員が不在となります。緊急時の連絡は釧路町教育委員会(62-2215)までお願いします。
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

※発行日時点の予定ですので、変更する場合があります。

ボランティアの方々のご協力で体力テスト実施

5月23日（火）、5名のボランティアの方々に協力いただきながら、全学年で体力テストを行いました。今回実施した種目は、握力、長座体前屈（右写真参照）、反復横とび、立幅とびの4種目でした。子ども達は前年度の記録を超えようと懸命に挑戦していました。別日にはシャトルランや持久走、50m走、ソフトボール投げも行っています。全ての結果がまとまりましたら、改めてお知らせいたします。ボランティアの皆さんのご協力に感謝いたします。



2年生の宿泊研修、1年生の社会見学実施

6月4日（木）～5日（金）の2日間、阿寒湖畔において宿泊研修を実施しました。『一致団結』のスローガンの下、学校ではできない体験を通して、充実した思い出深い活動となりました。特にナイトウォークでは美しい光の演出に感動する姿、ムックリ製作では集中して取り組む姿が見られました。また、自分たちで計画した自主研修は、上手いかなかった部分も含め、来年の修学旅行につながる活動となりました。

日常の学校生活から離れ、友だちや先生方と一緒に長い時間を過ごすことで、お互いに新たな良さを発見したり、絆を強くしたりすることの大切さが実感できる2日間となりました。

【1日目】「アイヌ古式舞踊」→「ウォークラリー」→「阿寒湖遊覧船」→「ナイトウォーク」
【2日目】「ムックリ制作・演奏体験」→「自主研修」

6月15日（月）、釧路市動物園と釧路市街地において社会見学を実施しました。『常に集団行動を意識して行動に責任を持ち協力しよう』のスローガンの下、中学生として初めての校外学習を実施しました。当日はメリハリをつけて行動しようとする姿、協力しながらウォークラリーに取り組む姿が見られ、学校行事を通し、子ども達の成長を実感しました。



【行程】「動物園（バックヤード見学・自由見学）」→「自主研修（昼食・ウォークラリー）」



別保中生の活躍！

【バドミントン部】釧路地区中体連 6月27日（土）～28日（日） 釧路町総合体育館

男子団体 2回戦敗退 女子団体 1回戦敗退
男子シングルス 石井・矢本2回戦敗退
田村・藤野3回戦敗退（ベスト16）
竹島4回戦敗退（ベスト8）
男子ダブルス 佐藤・田中3回戦敗退（ベスト8）
今井・落合、遠藤・合掌2回戦敗退
女子シングルス 方波見3回戦敗退 獅子内1回戦敗退
女子ダブルス 鈴木・鍋久保、北・和田2回戦敗退
北村・畑中1回戦敗退



「いじめの把握のためのアンケート調査」実施

いじめの早期発見、早期対応を図るためのアンケート調査を実施しました。調査項目には「嫌な思いをしたことがありますか」との設問があり、11名の生徒が「嫌な思いをしている」と回答しています。個別に事情を聴き、担任や学年団を中心に組織的にその解消にあたっています。

設 問	回 答	1回目
○嫌な思いをした時、誰に相談しますか？	「誰にも相談しない」	8名
○『いじめ』はどんな理由があっても許されないことだと思いますか？	「そう思わない」	1名
	「よくわからない」	4名

今回の調査では、「いじめは許される」と回答した生徒は本校では少数でした。今後は、以下の重点のもと、いじめ問題への対応を進めます。

重点1 「いじめの積極的な認知と『いじめ見逃しゼロ』の徹底」

重点2 「児童生徒自らがいじめの防止に取り組む活動の推進」

これらは学校だけではなくご家庭での協力も必要です。今後ともいじめ問題への対応について、ご理解とご協力をお願いいたします。

「いじめ」の定義

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう（「いじめ防止対策推進法」第2条）。

ご案内 第44回別保中学校体育祭



○日時：7月10日（金） ※予備日：7月13日（月）

生徒通常登校 8:20 まで 開会式 9:20～ 競技開始 9:40～ 閉会式 12:00～予定

○お知らせ：①給食あり ②生徒下校（下校バス）13:10 ③延期は 6:30 までにメール連絡